

GXD Amplifier

Quick Start Guide

QSC



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は、QSC 社製のパワーアンプをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
QSC パワーアンプの性能をフルに発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。尚、お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管してください。

開梱

製品がお手元に届いたら、すぐに梱包を解き、破損していないかどうか確認してください。破損していた場合は、この製品をお求めの販売店にご連絡ください。その際、輸送業者の検査に必要なため、外箱や梱包材をすべて保管しておいてください。

付属品

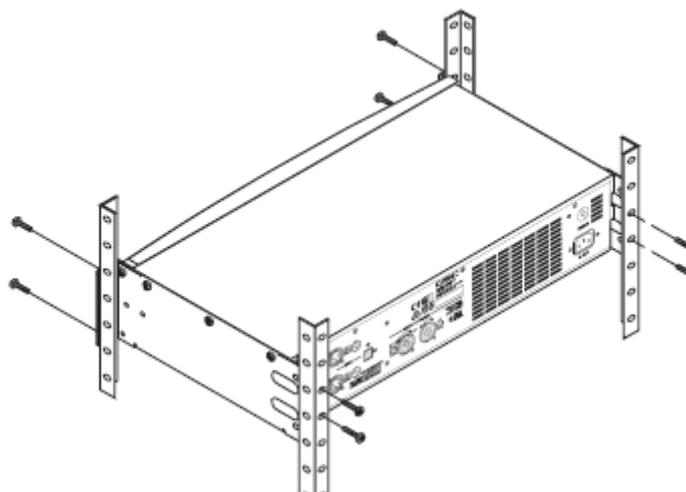
- ・ GXD アンプ本体
- ・ クイックスタートガイド
- ・ 電源コード

ご使用前に

- ・ このクイックスタートガイドにしたがって操作してください。
- ・ 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認し、万一、異常がある場合は販売店にご相談ください。
- ・ 火災や感電の原因となりますので、雨などがかかる場所、湿気の多い場所で使用しないでください。
- ・ 換気口をふさがないでください。
- ・ 直射日光の当たる場所やストーブの近くなど高温になりやすい場所を避け、なるべく通気性の良いところに設置してください。
- ・ 必ず付属の電源コードをご使用ください。
- ・ 電源コードが踏まれたり、挟まれたりしないよう注意してください。
- ・ 長期間使用しないときや落雷の危険があるときは電源プラグを抜いてください。
- ・ 感電防止のため、天板を開けないでください。
- ・ 雑音が入る可能性がありますので、テレビやラジオの近くでは使用しないでください。
- ・ AC100V、50/60Hz にてご使用ください。
- ・ 故障が生じた場合はお手数ですが販売店にご連絡ください。無断で本体カバーを開けられた場合、保証対象外となることがあります。

ラックマウント

GXD アンプは、標準的なラックケースに設置することができるようデザインされています。必要に応じてリアラックレールもご使用ください。2種類のリアサポートキットを別売アクセサリとしてご用意しています。詳しくはこの製品をお求めの販売代理店にお問い合わせください。



接続

入力(チャンネル 1&2)、USB

入力インピーダンスはバランス 20k Ω 、アンバランス 10k Ω です。

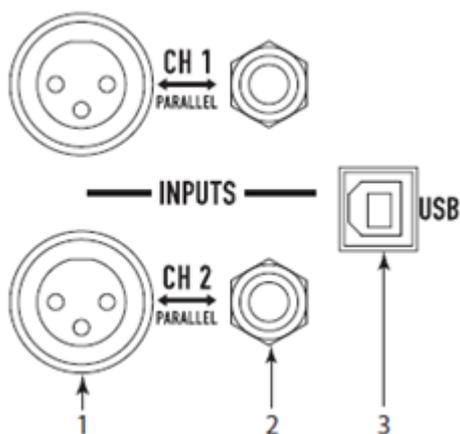
入力ケーブルを製作する場合は、ピンアサイン表をご参照ください。

1. XLR メス
2. 1/4"TRS フォン
3. USB (ファームウェア・アップデート用)

ピンアサイン表

	POS	NEG	GROUND
XLR	2	3	1
1/4	TIP	RING	SLEEVE

1番: グラウンド
2番: ホット
3番: コールド



出力 (チャンネルA&B)

対応インピーダンスは、4Ωまたは8Ωです。

- ・スピコン

スピコンケーブルを製作する場合は、本体リアパネルに表示されているピンアサイン表をご参照ください。

- ・バイディングポスト

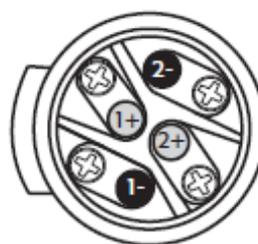
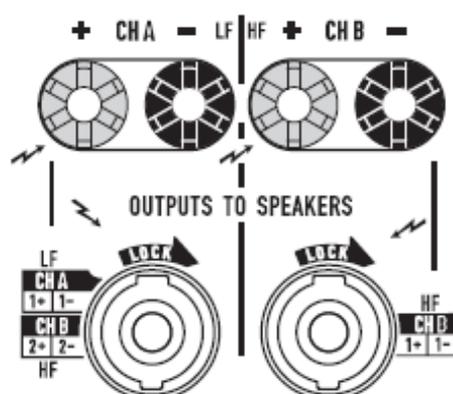
バナナプラグ、または芯線を直接接続します。

注意

ブリッジ接続には対応していません。

芯線がシャーシに当たらないようにしてください。

正しい極性で接続してください。



ピンアサイン表
1+, 2+: ホット
1-, 2-: コールド

電源

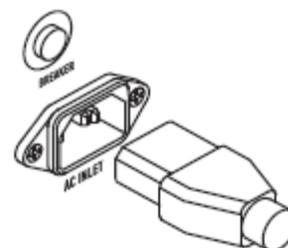
アンプの背面にある電源ソケットに付属の電源コードを接続します。

必要に応じてブレーカー・リセットボタンを押してください。

注意

電源コードは、必ずアースが接続されているAC電源に接続してください。

Power Consumption			
Amplifier	Voltage	Current	Frequency
GXD 4	100-240 VAC	~3.3 A - 1.6 A	50/60 Hz
GXD 8	100-240 VAC	~6.3 A - 3.6 A	50/60 Hz



コントロールとインジケータ

1. チャンネル A・クリップ・インジケータ

高い入力レベルにより、クリップした際に赤く点灯します。

2. チャンネル A・シグナル・インジケータ

信号が入力された際に緑色に点灯します。

3. 電源スイッチ

電源 ON 時に LED 点灯、電源 OFF 時に LED 消灯します。

4. チャンネル A・ゲインコントロール

チャンネル A のゲインを調整します。

5. ユーザーインターフェース

HOME ボタン: ホーム画面、プリセット画面へ移動

ENTER ボタン: 選択した項目、パラメーター変更の決定

EXIT ボタン: 前の画面に戻る/パラメーター変更を戻す

6. チャンネル B・ゲインコントロール

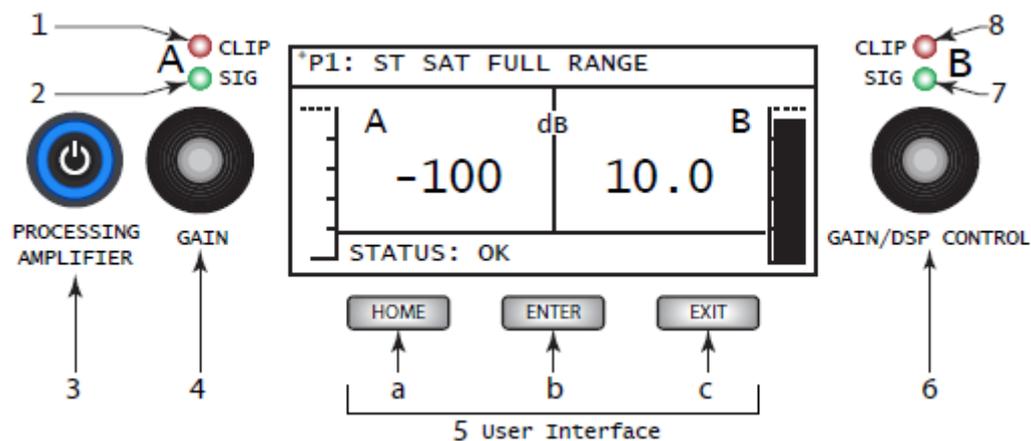
チャンネル B のゲインを調整、パラメーターの選択、調整をします。

7. チャンネル B・シグナル・インジケータ

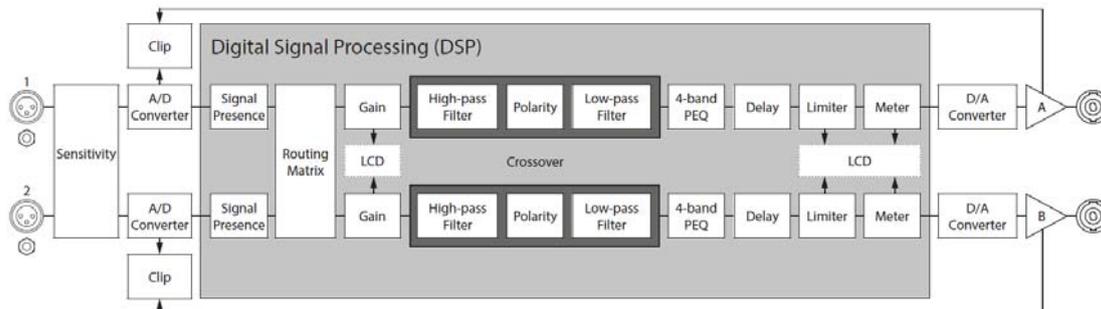
信号が入力された際に緑色に点灯します。

8. チャンネル B・クリップ・インジケータ

入力レベルが高く、クリップした際に赤く点灯します。



GXD シグナルフロー



セットアップ&操作

メニューツリー

PRESET

- PRESET RECALL
- PRESET SAVE
- PRESET SAVE AS

* STEREO DSP and DSP A / DSP B depend on the selected configuration.

STEREO DSP*

- SENSITIVITY
- CROSSOVER
- EQ
- DELAY
- LIMITER

DSP A / DSP B*

- SENSITIVITY
- CROSSOVER
- EQ
- DELAY
- LIMITER

UTILITIES

- STATUS
- CONTRAST
- TIMEOUT
- LOCKOUT
- RESET

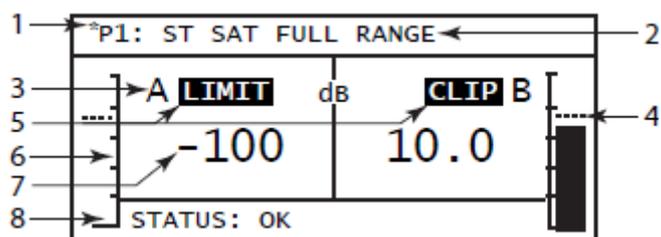
ナビゲーションキー



ホーム画面

HOME ボタンを押すと、ホーム画面に移動します。 → 

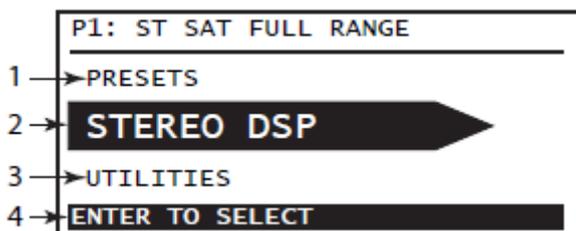
1. 画面上のアスタリスク(*)は、変更内容が保存されていないことを示しています。
2. 現在、使用中のプリセット番号、プリセット名
3. 出力チャンネル名 (AまたはB)
4. リミットレベル・インジケータ (AまたはB)
5. リミット・インジケータ、クリップ・インジケータ
6. 出力レベルメーター (AまたはB)
7. 出力ゲイン (レンジ=-100 to +10 dB)
8. アンプ・ステータス



メイン・ナビゲーションメニュー

HOME画面でENTERを押してください。 → 

1. 前の項目: PRESETS
2. 選択中の項目: STEREO DSP (DSP A、DSP B)
3. 次の項目: UTILITIES
4. 操作の指示



システム構成

基本的なシステム構成は、以下の4つです。

2ch 入力、ステレオ DSP、2ch 出力 (プリセット番号 : P1-P7)

2ch 入力、セパレート DSP、2ch 出力 (P8- P10)

1、または 2ch 入力(モノラルミックス)、セパレート DSP、2ch 出力 (P11- P18)

1、または 2ch 入力(モノラルミックス)、ステレオ DSP、2ch 出力 (P19-P20)



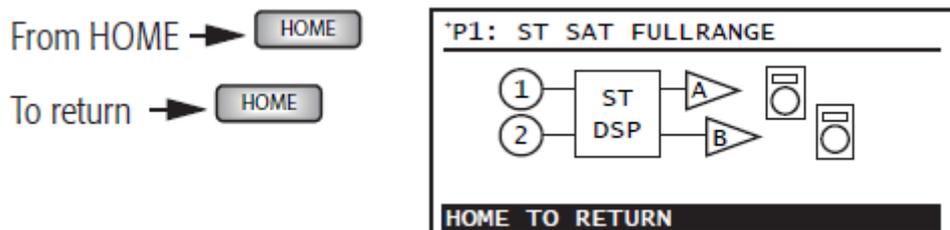
プリセットは、4つのシステム構成をベースにした 20 種類から選択することができます。

	プリセット名	入力	出力	DSP	DSP A		DSP B	
					LPF	HPF	LPF	HPF
P1	ST SAT FULLRANGE	2ch	2ch	ステレオ	バイパス	20Hz	バイパス	20Hz
P2	ST SAT 80Hz	2ch	2ch	ステレオ	バイパス	80Hz	バイパス	80Hz
P3	ST SAT 90Hz	2ch	2ch	ステレオ	バイパス	90Hz	バイパス	90Hz
P4	ST SAT 100Hz	2ch	2ch	ステレオ	バイパス	100Hz	バイパス	100Hz
P5	ST SUB 80Hz	2ch	2ch	ステレオ	80Hz	20Hz	80Hz	20Hz
P6	ST SUB 90Hz	2ch	2ch	ステレオ	90Hz	20Hz	90Hz	20Hz
P7	ST SUB 100Hz	2ch	2ch	ステレオ	100Hz	20Hz	100Hz	20Hz
P8	MONITORS 60Hz	2ch	2ch	セパレート	バイパス	60Hz	バイパス	60Hz
P9	MONITORS 80Hz	2ch	2ch	セパレート	バイパス	80Hz	バイパス	80Hz
P10	MONITORS 100Hz	2ch	2ch	セパレート	バイパス	100Hz	バイパス	100Hz
P11	SUB SAT 80Hz	1 or 2ch	2ch	セパレート	80Hz	20Hz	バイパス	80Hz
P12	SUB SAT 90Hz	1 or 2ch	2ch	セパレート	90Hz	20Hz	バイパス	90Hz
P13	SUB SAT 100Hz	1 or 2ch	2ch	セパレート	100Hz	20Hz	バイパス	100Hz
P14	BIAMP 1000Hz	1 or 2ch	2ch	セパレート	1000Hz	20Hz	バイパス	1000Hz
P15	BIAMP 1100Hz	1 or 2ch	2ch	セパレート	1100Hz	20Hz	バイパス	1100Hz
P16	BIAMP 1200Hz	1 or 2ch	2ch	セパレート	1200Hz	20Hz	バイパス	1200Hz
P17	BIAMP 1300Hz	1 or 2ch	2ch	セパレート	1300Hz	20Hz	バイパス	1300Hz
P18	BIAMP 1500Hz	1 or 2ch	2ch	セパレート	1500Hz	20Hz	バイパス	1500Hz
P19	MONO SATS 50Hz	1 or 2ch	2ch	ステレオ	バイパス	50Hz	バイパス	50Hz
P20	MONO SUB 100Hz	1 or 2ch	2ch	ステレオ	100Hz	20Hz	100Hz	20Hz

プリセット

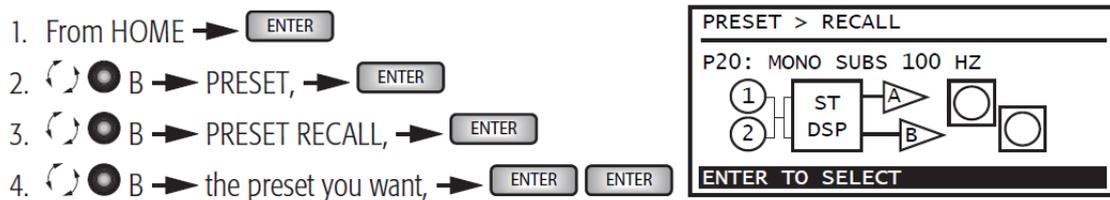
各プリセットのDSP設定は変更することができ、変更内容を保存することができます。

現在のプリセットを確認する



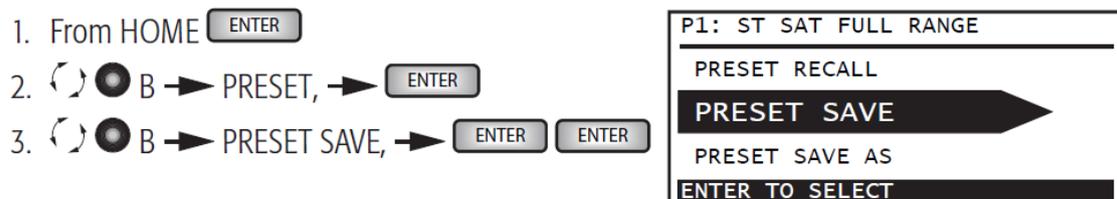
プリセットの呼び出し

スピーカーシステムに合わせたプリセットを呼び出します。



プリセットの保存

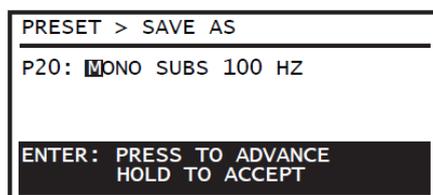
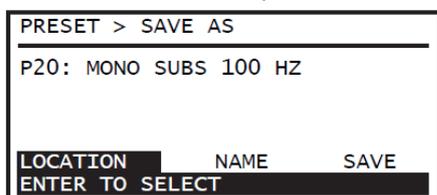
DSPの設定を変更したプリセットを、上書き保存します。



名前をつけてプリセットを保存

プリセット番号、プリセット名、変更したDSP設定を保存します。

1. From HOME → **ENTER**
2. () ● B → PRESET, → **ENTER**
3. () ● B → PRESET SAVE AS, → **ENTER**
4. () ● B → LOCATION → **ENTER**
5. () ● B → the LOCATION (P1 to P20), → **ENTER**
6. () ● B → NAME, → **ENTER**
7. () ● B → letter, number, hyphen, or space → **ENTER** repeat. When finished → **EXIT**
8. () ● B → SAVE, → **ENTER** **ENTER**



ステレオDSP(Digital Signal Processing)、セパレートDSP (DSP AとDSP B)

ステレオDSPは、両チャンネルに対し、同じ内容の設定ができます。

セパレートDSP (DSP AとDSP B)は、それぞれのチャンネルで個別に設定が適用されます。

感度調整は、ステレオDSP、セパレートDSPいずれも共通の設定になります。

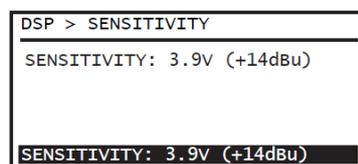
ステレオDSPとセパレートDSPの切り替えは、ステレオ、またはデュアルモノのいずれかのプリセットを呼び出すことにより行われます。

変更内容はリアルタイムで反映され、音を確認しながら設定をすることができます。

感度

入力感度を設定します。

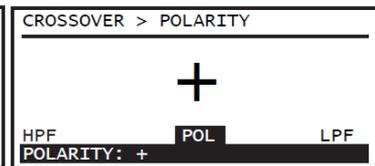
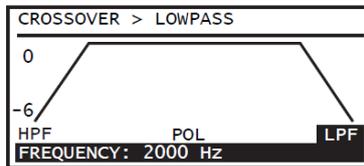
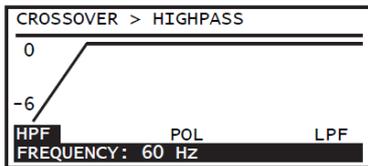
1. From HOME → **ENTER**
2. () ● B → STEREO DSP, → **ENTER**
3. () ● B → SENSITIVITY, → **ENTER**
4. () ● B → 1.2 V (+4 dBu), 3.9 V (+14 dBu), or TouchMix™, → **ENTER**



クロスオーバー&極性

ロー/ハイパスフィルターの周波数、極性を設定します。

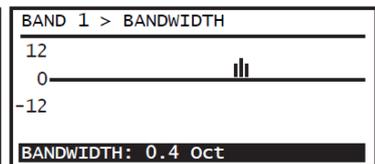
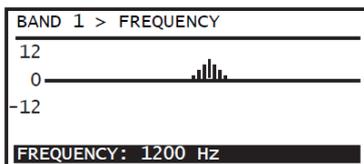
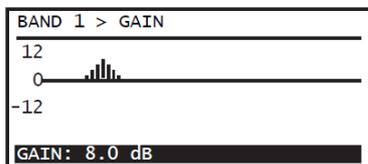
1. From HOME →
2. () ● B → STEREO DSP, →
3. () ● B → CROSSOVER, →
4. () ● B → HPF, →
5. () ● B ⇄ FREQUENCY (BYPASS, 20 Hz to 4 kHz), →
6. () ● B → LPF, →
7. () ● B ⇄ FREQUENCY (BYPASS, 60 Hz to 4 kHz), →
8. () ● B → POL, →
9. () ● B → positive (+) or negative (-), →



EQ

4バンド・イコライザーのゲイン、周波数、バンド幅を設定します。

1. From HOME →
2. () ● B → STEREO DSP →
3. () ● B → EQ →
4. () ● B → BAND1, BAND2, BAND3, or BAND4 →
5. () ● B → GAIN, →
6. () ● B ⇄ GAIN (-12 dB to +12 dB), →
7. () ● B → FREQUENCY, →
8. () ● B ⇄ FREQUENCY (20 Hz to 20 kHz), →
9. () ● B → BW (bandwidth), →
10. () ● B ⇄ BANDWIDTH (0.1 Oct to 3.0 Oct), →



ディレイ

ディレイタイムの設定をします。(0.00~56.30フィート/17.16m/50ミリ秒)

1. From HOME → **ENTER**
2. **↻** ● B → STEREO DSP, → **ENTER**
3. **↻** ● B → DELAY, → **ENTER**
4. **↻** ● B ↔ DELAY (0.00 to 56.30 FT, or 17.16 M, or 50 MS), → **ENTER** **HOME**

DSP > DELAY	
DELAY:	7.27 FT
DELAY:	2.22 M
DELAY:	8.48 MS
DELAY: 8.48 MS	

リミッター

リミッターのタイプ、スピーカーの連続許容入力、インピーダンスを設定します。

1. From HOME → **ENTER**
2. **↻** ● B → STEREO DSP, → **ENTER**
3. **↻** ● B → LIMITER, → **ENTER**
4. **↻** ● B → TYPE, → **ENTER**
5. **↻** ● B → MILD, MEDIUM, or AGGRESSIVE → **ENTER**
6. **↻** ● B → POWER, → **ENTER**
7. **↻** ● B ↔ POWER (see – Table 4), → **ENTER**
8. **↻** ● B → IMPEDANCE (4 Ω or 8 Ω), → **ENTER** **HOME**

LIMITER > TYPE
TYPE: AGGR
POWER: 125 W
IMPEDANCE: 4 Ω
TYPE: AGGRESSIVE

LIMITER > POWER
TYPE: AGGR
POWER: 125 W
IMPEDANCE: 4 Ω
POWER: 125 W

Model	4Ω	8Ω
GXD 4	5 W – 600 W	5 W – 400 W
GXD 8	5 W – 1200 W	5 W – 800 W

ユーティリティー

ステータス

トータルランタイム、ハードウェア、ファームウェアのバージョンを表示します。

コントラスト

LCD ディスプレイのコントラストを調整します。

タイムアウト

LCD が消灯するまでの時間を調整します。消灯後、操作を開始すると再度点灯します。

ロックアウト

設定の編集範囲を選択します。

UNLOCK: 編集可能

LOCK DSP: DSP 以外編集可能

LOCK ALL: すべて編集不可

リセット

DSP を含むすべてのパラメーターを工場出荷時の状態に戻します。

仕様	GXD4	GXD8
定格出力 8Ω連続、両ch使用	400W	800W
定格出力 4Ω連続、両ch使用	600W	1200W
歪み率 (1kHz、最大定格出力)	1%未満	
S/N比 (A-weighted、20Hz-20kHz)	100dB	
入力感度	1.2 Vrms, 3.9 Vrms	
最大電圧ゲイン	33.5dB	36.5dB
アンプ回路	クラス D	
消費電力(1/8 パワー、4Ω)	340W	620W
周波レスポンス	+0.7dB、-0.8dB	
ダイナミック・ヘッドルーム(4Ω)	1.25dB	2.73dB
ダンピングファクター	100	
入力インピーダンス	20kΩ (バランス) 10kΩ (アンバランス)	
最大入力レベル	+23.5dBu	
入力コネクタ	XLR メス、TRS フォン	
出力コネクタ	スピコン、バインディングポスト	
アンプ/負荷保護	ショートサーキット、オープン サーキット、RF 保護、DC 保護	
フロントパネル・コントロール、 インジケータ	2 x ロータリーエンコーダー 3 x オペレーションボタン 2 x シグナル LED(緑) 2 x クリップ LED(赤) 電源 LED(青) LCD ディスプレイ (2.12" x 1.0"、256 x 128 ピクセル)	
寸法(WxHxD)	483x89x259mm	
本体重量/梱包重量	5.1/7.0kg	6.0/7.8kg
準拠規格	UL、CE、RoHS/WEEE	
付属品	電源コード、クイックスタートガイド	

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。